

みずほCustomer Desk Report 2023/05/25 号 (As of 2023/05/24)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	138.61 AUD/USD
TKY 9:00AM	138.60	1.0771	149.10	1.2423	0.6614
SYD-NY High	139.48	1.0801	149.93	1.2470	0.6615
SYD-NY Low	138.24	1.0748	148.86	1.2358	0.6530
NY 5:00 PM	139.48	1.0750	149.90	1.2366	0.6544

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,799.92	▲ 255.59	日本2年債	▲0.0700%	▲0.0100%
NASDAQ	12,484.16	▲ 76.08	日本10年債	0.4100%	0.0200%
S&P	4,115.24	▲ 30.34	米国2年債	4.3768%	0.0587%
日経平均	30,682.68	▲ 275.09	米国5年債	3.8159%	0.0741%
TOPIX	2,152.40	▲ 9.09	米国10年債	3.7429%	0.0462%
シカゴ日経先物	30,520.00	▲ 205.00	独10年債	2.4520%	▲0.0110%
ロンドンFT	7,627.10	▲ 135.85	英10年債	4.2065%	0.0480%
DAX	15,842.13	▲ 310.73	豪10年債	3.6290%	▲0.0140%
ハンセン指数	19,115.93	▲ 315.32	USDJPY 1M Vol	10.77%	▲0.10%
上海総合	3,204.75	▲ 41.49	USDJPY 3M Vol	10.39%	▲0.02%
NY金	1,964.60	▲ 9.90	USDJPY 6M Vol	10.43%	0.04%
WTI	74.34	1.43	USDJPY 1M 25RR	▲1.58%	Yen Call Over
CRB指数	262.70	1.49	EURJPY 3M Vol	9.77%	0.03%
ドルインデックス	103.89	0.40	EURJPY 6M Vol	10.07%	0.04%

東京	東京時間のドル円は、138.60レベルでオープン。前日の米国株下落の流れを受け継ぐ形で日経平均株価が下落するなどリスク回避ムードが漂う中、ドル円も上値が重い展開。一時138.24まで下落するも、その後は英CPIが市場予想を上回る強い結果を受けて欧米長期金利が上昇。日米金利差を意識したドル買い・円売りの流れとなり、138.49レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、138.49レベルでオープン。欧米金利の上昇を背景に138.73まで上昇し、結局138.38レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は138円台半ばでスタート。欧州時間では英4月CPIが発表され、予想を上回った結果を受け、欧米金利が上昇する中、138円台後半まで上昇するも、その後伸び悩み反落し138.38レベルでNYオープン。朝方は「マッカーシー米下院議長が午前中に債務交渉の最新情報を提供する予定」とのヘッドラインや、イレン米財務長官が「債務上限を巡る合意は可能」等の発言がドル買いをサポート。その後、マッカーシー米下院議長が債務上限問題を巡り、依然大きな隔たりがあるとの見方を示した事や、ウォーFRB理事の次回会合で利上げの可能性ある発言を受け、リスクオフと利上げ期待のドル買いが相まって、139.40台付近まで上昇する。午後は米5月FOMC議事録が公表され、ほとんどすべてのメンバーがインフレの上方リスクがあると認識と明らかになったことから、一旦139.41まで上昇するが、その後は138.98まで反落する。終盤は、米金利上昇に伴い上昇し、年初来高値の139.48レベルを付け、そのままクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.07台後半でスタート。独5月IFO企業景況感指数が予想を下回り、ユーロ売りが優勢となり、1.07台半ばまで下落するも、その後独金利が持ち直したことを受け、反発し1.0782レベルでNYオープン。朝方は1.0801まで回復する場面もあったが、その後一連の米要人発言を受け、ドルが買われる中1.0749まで反落する。午後米サポート材料が見当たらない中、1.0760台を挟んだ狭いレンジが続き、1.0750レベルでクロス。

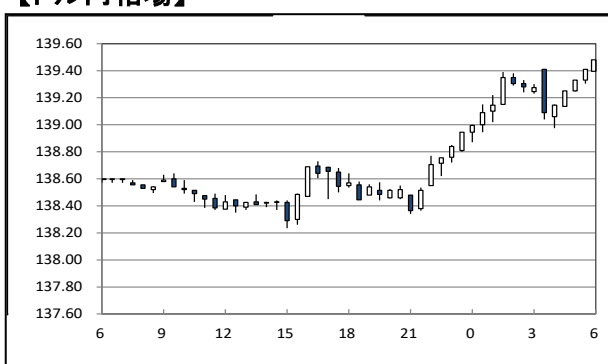
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月24日	15:00	英 CPI(前月比/前年比)	4月 1.2%/8.7%	0.7%/8.2%
	17:00	独 IFO企業景況感指数	5月 91.7	93.4
	17:00	独 IFO(期待/現況)指数	5月 88.6/94.8	91.7/95.1

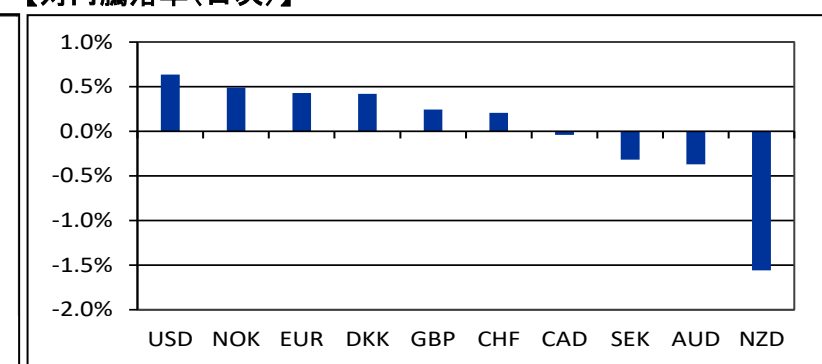
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月25日	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	4月 -0.2	-0.19
	21:30	米 新規失業保険申請件数	20-May 245k	242k
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	1Q S 1.1%	1.1%
	21:30	米 個人消費	1Q S 3.7%	3.7%
	21:30	米 コアPCE(前期比)	1Q S 4.9%	4.9%
	23:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	4月 1.0%	-5.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	138.30-139.60	1.0730-1.0770	149.30-149.95

【マーケットインプレッション】

昨日のドル/円は、海外時間にて大幅に上昇する展開。東京時間では、前日のリスク回避ムードが継続し、日本株が大幅に下落する中、ドル円も上値が重い展開となり、一時138.24まで下落。欧州時間では、英4月CPIが発表され、予想を上回った結果を受け、欧米金利が上昇する中、138円台後半まで上昇。米国時間では、マッカーシー米下院議長が債務上限問題を巡り依然大きな隔たりある見方を示した事や、ウォーFRB理事の次回会合で利上げの可能性ある発言を受け、リスクオフと利上げ期待のドル買いが相まって、139.40台付近まで上昇。一時、138.97近辺まで下落するも、引けにかけては米金利上昇に追随し、年初来高値の139.48レベルを付けそのまま引ける。
本日はもみ合いながらも下落する展開を想定。昨日はTbillsスプレッド(6/1満期 - 5/31満期)は引き続き拡大傾向など米債務上限問題が燦る中、ドル高・米金利上昇の流れが継続。特徴としては、足元見られていた米金利上昇はスワップスプレッドのワイドニングを伴いながらであったが、昨日はむしろタイトニングしていたことから債券売りが金利上昇を主導していたと考えられる。今後の投げ売りには要警戒な一方、3連休を控える中、足元の水準からの積極的なショートはやりにくいと考えられるため、小幅の戻し(米金利低下・ドル円下落)を想定する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 大橋・逸見